

## 特色ある学校づくり

めざす子ども像　ふるさと甲奴を誇りに思い、主体的に学ぶ子供

小中9年間を見通した甲奴中学校区小中一貫教育を推進し、主体的に学び、「知」「徳」「体」の定着した児童生徒を育成する。

そのために、知では、主体的な学びを進める単元開発を行い、発達段階に即して「対話力」を育成し、主体的に対話的な授業づくりを通して、思考力・表現力の育成を図る。主体的に学ぶ生徒を育成し、確かな学力を育むために授業づくり（授業改善）の研究推進を行う。さらに、小中合同研修において、学力調査の結果分析と共通課題を共有し、小中の学習内容の接続について研修を深める。また、地域の教育力を生かした異文化間協働活動を実践し、外国語教育の充実を図る。具体的には、各学校の授業研修へ参加し学び合い、授業改善を図る。

徳では、道徳教育を推進し、生徒一人一人の豊かな心を育成する。具体的には、「考え議論する道徳」へ向けて、教材研究、教材開発とその活用等を研修し、道徳の時間の充実を図る。

体では、体育や部活動などの運動を通じて体力を養い健やかな体力づくりを推進する。

### 【具体的な取組】

- ① 全教科で授業研究に取り組み、生徒指導の三機能を生かした「課題発見・解決学習」につながる授業づくりに取り組み、主体的に学び、学び高まり合う生徒の育成と活用力の向上を図る。
- ② 校内英語暗唱大会や英語検定受験の奨励等を通して学年に応じた英語力の向上を図る。また、学力検査結果の分析に基づき、課題改善のための授業づくりを行い、英語の通過率の向上を図る。
- ③ 豊かな体験を通じた道徳の時間の授業の充実を目指し、道徳教育推進教師を中心に、道徳的な課題を生徒一人一人が自分自身の問題と捉え向き合う「考え議論する道徳」の実践を行う。
- ④ 授業や部活動の充実を図り、調査結果を分析し、課題となった種目や全体的な体力の向上を図る。
- ⑤ 発達段階に即して対話力を系統的に小中共通の育てたい資質・能力の柱として様々な教育活動に取り組む。